

Try the Trial 第1戦 大会概要

- 名称：とらとら (Try the Trial)
- 開催場所：三重県伊賀市森寺 (ゲリラ山)
- イベント内容：四輪駆動車による走行会およびセルフトライアルレース
- 日時：2024年5月12日(日)
- 参加資格
 - ◆ 普通自動車免許取得者及び同等の運転技術を持つ者（未成年者は保護者の承諾が必要）
※競技中に発作等の起こり得る持病の保有者はエントリーできません。
- 参加料：公式ホームページをご参照ください。(https://trythetrial.motor-farm.com/)
- 参加台数：40台を上限とする。
- エントリー受付
 - 開催日の1か月前から開催日1週間前まで受付します。ホームページ・SNSなどで告知いたします。
 - ※必ず協議内容、競技規則、車両規則、免責事項などを確認・同意した上でお申し込みください。
また、誓約書の提出がないドライバーの運転は禁止といたします。
- キャンセル
 - キャンセルの場合は事前にご連絡ください。また、当日の走行枠の割り振りなどの都合があるため極力キャンセルを避け、やむを得ない事情の際はできる限り事前にご連絡をお願いいたします。
- 損害の保証
 - 参加者は、参加車両及びその付属品の損害・紛失・盗難等の場合又は会場の品物を破損した場合、理由の如何を問わず各自が責任を負わなければならない。主催者及び大会役員は、その役務に最善を尽くす事は無論であるが、その役務進行に起きた参加者・ドライバー及びギャラリーの死亡・負傷・車両損害に対しては、主催者及び大会役員は一切の責任を負わない。

競技規則

- 関西4x4ゲリラトライアル競技規則に準ずるが異なる点においてのみ、以下に記載する
 - クラス分け
 - ◆ 下記3クラスとする

JA系クラス	JB23系クラス	JB64系クラス
SJ30,JA11,51,71,12,22,JB31,32	JB23,33,43	JB64,74

- コース設営
 - ◆ 大会当日におこなう。参加者・見学者問わずコース設営に参加可能。ただし、コース設営後にコース内を走行することは、試走も含め一切できない。
- オフィシャル
 - ◆ セルフトライアルレースとし、競技参加者が交代制でオフィシャルを行うものとする。

- シリーズポイント
 - ◆ 本大会はシリーズ戦ではないため、シリーズポイントの付与はおこなわない。

安全規則

- 自動車用または、原動機付自転車用以上のバイク用ヘルメットを着用のこと（耳まで完全に覆う形になっているもの）
- 長袖・長ズボンの着用
- グローブ着用（軍手は認めない）
- 競技車両には、車載消火器を常備することを推奨する。取り付け位置は、横転時でも手の届く所、及び横転時にロック等の突起物に当たらない所に設置するのが望ましい。
- 運転しやすい靴（サンダル・裸足は認めない）
- 小学生以下の児童を同伴させる場合は、ドライバーのほかに児童を監督できる成人以上の同伴が必要とする。

車両規則

- 車両
 - ATV を除く四輪駆動車であること。コースレイアウトの設定上、ジムニー、ジムニーシエラでの参加を原則とする。
 - 会場規模を考慮し積車で車両持ち込みは禁止とする。
- 外装・内装
 - 窓枠・ルーフの取り外しは認めない。
 - ドア・リアゲートの取り外しを行う場合は、4点式シートベルト、フロント4点式以上のロールバーを装着の上、ハーフドア等の脱落防止措置を行うこと。
 - バンパーの交換や取り外し、オーバーフェンダーの取り外しは認める。ただし、公道では必ずオーバーフェンダー装着のこと。
 - ホロ車にはフロント4点式以上ロールバーを装着すること。バン車両はロールバーの装着義務はないが、安全のため4点以上のロールバーの装着が望ましい。
 - 3点式以上のシートベルトを着用のこと。純正でも可能だが、安全のため4点式シートベルトの着用が望ましい。
 - 車両前後には、最低1個以上のけん引フックを取り付けること。
 - 競技に必要な荷物は運転の妨げになるため車からおろすこと。競技中に車内の荷物が落下した場合は、10点の減点となるので注意する。
- 原動機
 - ラジエターの位置変更は、安全に配慮し確実に取り付けること、また蒸気・熱湯吹き出し時人への危害がない様に本体・ホース・サブタンクにはカバーを取り付けなければならない。特に、サブタンクブローホースの吹き出し口の位置の選定には注意すること。
 - ラジエターサブタンク・ブレーキオイルタンク等のふたはテープ等によりゆるみ・脱落防止処を

施すことが望ましい。燃料タンクの変更は、燃料が漏れない様に安全に配慮し確実に取り付けること。（保護カバーの取り付けが望ましい。）

● 動力伝達装置

- タイヤへのグルーピングは自由。スパイクタイヤ・チェーン・タイヤ内部への水注入など空気・窒素以外の物を入れる事を禁ずる。
- トラクションデバイス装着車は受付時に申告のうえ、以下のようにハンディキャップを設ける。無申告で使用した場合、そのセクションは 10 点とする。JB64・74 のブレーキ LSD はこの限りではない。
 - ◆ フロントリア問わずにデバイス：各セクションにつき+1 点
- エアロッカーなど、切り替えできるものは使用しなければ OK。また、使用しない場合は事前申告の上、テーピングなど不使用が視認できる措置をすること。
- FF 走行装置は認めない。装着されていても使用しなければ OK。使用した場合、そのセクションは 10 点とする。

● 制動装置

- 左右独立式のブレーキは認めない（ステアリングブレーキ・ラインロックなど）装着されていても使用しなければ OK。使用した場合、そのセクションは 10 点とする。JB64・74 のブレーキ LSD はこの限りではない。
- リヤブレーキの無効化（配管つぶしなど）は認めない。

● 電装品

- バッテリーは完全に固定し液漏れによる危害がないようにカバーをすること。
- バッテリー端子、IG コイルなどの電子端子部にはショートによる火災防止のため、露出しないように覆うこと。

● 操舵装置

- 4WS 装置の使用は認めない。装着されていても使用しなければ OK。使用した場合、そのセクションは 10 点とする。

● その他

- 上記以外でも安全性危険・不適格車と競技委員長が認めた場合、参加を拒否する事が出来る。

車両検査

- 主催者は競技中・終了直後にも車両検査を行う事ができる。参加者は、いかなる場合も検査を拒否することはできない。